



令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜 学力検査（マーク式及び記述式解答）に係る注意事項について

解答用紙の注意事項

マーク式の解答は、マーク欄をHB又はBの濃さの黒鉛筆（シャープペンシルでも可）で塗りつぶします。なお、解答用紙は裏面を使用することもあります。

- ・解答を書き直す場合は、消しゴムを使ってきれいに消してください。消し忘れや、消し方が不十分な場合及び消しきずが残っている場合は、読み取りエラーが起ることがあります。
- ・解答用紙を折り曲げることや、汚すことがないようにしてください。
- ・所定の記入欄以外の余白には、何も記入しないでください。

記述式解答の注意事項

解答欄をはみ出さないように記述してください。記述式解答は、解答欄をパソコンの画面に表示して採点します。

良い例 (1) would

悪い例 (1) would

マーク式解答の注意事項

<p>良い例</p> <p>● 濃くはっきりと塗りつぶしている</p>	<p>悪い例 読み取りエラーが起ることがあります。</p> <p>○ 線を引くだけで塗りつぶしていない</p> <p>○ はみ出している</p> <p>○ レ点を記入し、塗りつぶしていない</p>	<p>○ 塗りつぶす箇所が小さい</p> <p>○ 輪郭をなぞっているだけ</p> <p>○ 塗りつぶし方が薄い</p>
--	--	--

※ 受検番号の塗り方

右の例のように、全ての教科において、受検番号は左から右に手書きで上部に記入し、該当するマーク欄を塗りつぶします。なお、裏面に受検番号を記入する教科もあります。

受 検 番 号			
1	1	5	8
①	①	①	①
●	●	○	○
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	●	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	●
⑨	⑨	⑨	⑨

○符号を選択する形式の解答例

符号を選択する場合は、その符号のマーク欄を塗ります。

- ① 1つだけ選択する場合 (例) 正答が「ウ」

(1) (ア) (イ) ● (エ)

- ② 2つ以上を同時に選択する場合 (例) 正答が「ア」、「イ」、「ウ」

(1) ● ● ● (エ) (オ)

- ③ 並び替えをする場合 (例) 正答が「ウ」→「イ」→「エ」

(1) (ア) (イ) → (ア) ● → (ア) (イ)
● (エ) (ウ) (エ) (ウ) ●



数値を答える形式の解答例

数値を答える場合は、かな符号（あ、い、う、え、…）にあてはまる符号（-）や数値（0～9）を解答欄の例のように塗りつぶします。

- ① $2 + 3 =$ の場合、答えは5なので、次のように塗ります。

解答欄の例

あ	-	0	1	2	3	4	<input checked="" type="radio"/>	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	----------------------------------	---	---	---	---

- ② $5 \times 8 =$ の場合、答えは40なので、次のように塗ります。3桁以上も同様です。

い	-	0	1	2	3	<input checked="" type="radio"/>	5	6	7	8	9
う	-	<input checked="" type="radio"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ③ $-4 \times 7 =$ の場合、答えは、-28なので、次のように塗ります。

え	<input checked="" type="radio"/>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お	-	0	1	<input checked="" type="radio"/>	3	4	5	6	7	8	9
か	-	0	1	2	3	4	5	6	7	<input checked="" type="radio"/>	9

※ 例えば、かな符号が3つ並んでいる場合、答えは「3桁の数」または「負の数で2桁の数」となります。005、027、-06のような答えにはなりません。

- ④ 答えが分数となる場合、分子の数を先に塗り、分母の数を後に塗ります。
 なお、答えに分数が含まれる場合は、それ以上約分できない形で解答します。

例えば、 $\frac{\text{き}}{\text{く}}$ に $\frac{2}{3}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$\frac{4}{6}$ と解答した場合は、正解になりません。

き	-	0	1	<input checked="" type="radio"/>	3	4	5	6	7	8	9
く	-	0	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5	6	7	8	9

- ⑤ 答えが分数かつ負の数となる場合は、分子に-（マイナス）をつけて解答します。

例えば、 $\frac{\text{けこ}}{\text{さし}}$ に $-\frac{5}{13}$ を解答する場合は、 $\frac{-5}{13}$ とし、次のように塗ります。

け	<input checked="" type="radio"/>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	-	0	1	2	3	4	<input checked="" type="radio"/>	6	7	8	9
さ	-	0	<input checked="" type="radio"/>	2	3	4	5	6	7	8	9
し	-	0	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5	6	7	8	9

- ⑥ 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数とした形で解答します。

例えば、 $\sqrt{\text{せ}}$ に $4\sqrt{2}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$2\sqrt{8}$ と解答した場合は、正解になりません。

す	-	0	1	2	3	<input checked="" type="radio"/>	5	6	7	8	9
せ	-	0	1	<input checked="" type="radio"/>	3	4	5	6	7	8	9

- ⑦ 答えに文字が含まれ、係数を答えるときは次のように解答します。

例えば、 $\text{そ}a - \text{た}b$ に $9a - 6b$ と解答する場合は、次のように塗ります。

そ	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	<input checked="" type="radio"/>
た	-	0	1	2	3	4	5	<input checked="" type="radio"/>	7	8	9

- ⑧ 答えが順不同となる時、例えば、 $x^2 - 5x + 6 = (x - \text{ち})(x - \text{つ})$ の場合、左辺を因数分解すると、 $(x - 2)(x - 3)$ または $(x - 3)(x - 2)$ となります。この場合、次の塗り方のどちらも正解となります。

ち	-	0	1	<input checked="" type="radio"/>	3	4	5	6	7	8	9
つ	-	0	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5	6	7	8	9

ち	-	0	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5	6	7	8	9
つ	-	0	1	<input checked="" type="radio"/>	3	4	5	6	7	8	9